

## 第26回柿生カルチャー講座

### 川崎・たちばなの古代史

日時・平成23年(2011)1月31日(月) 午後6時より

場所・柿生中学校視聴覚室

講師・村田 文夫(日本考古学協会員)

#### 講座の構成

1. 律令期の古代社会とその仕組み
2. 見えてきた武蔵国橘樹郡の統治的な仕組み
3. 古代・影向寺の発掘とその成果を探る
4. 橘樹郡衙跡は何処かを探る
5. 千年伊勢山台は郡衙のどの箇所なのかを探る
6. 橘樹郡衙の政庁を探る
7. 橘樹神社、東海道小高駅家を探る
8. 馬絹古墳の被葬者像を探る



1 古代武蔵国と相模国の郡衙遺跡 岡部町教育委員会「古代の役所」を一部修正



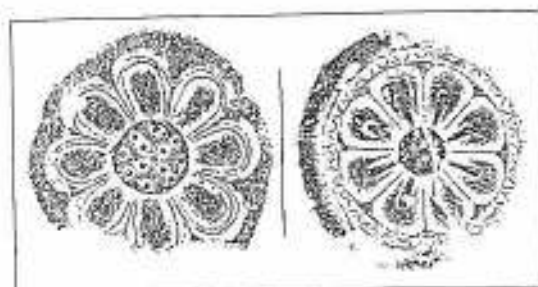
2 横須賀付近 ①影向寺、②千年伊勢山台遺跡（横須賀市）  
③子母口富士見台 昭和44年度神奈川県撮影の航空写真を使用



3 影向寺の薬師堂 堂の下に古代の柱礎・金銭跡が埋もれている



4 薬師堂が岡部子に納まった薬師本尊（平安時代の作、鎌倉文化財）の安置が認め、昭和30年2月の本願廟開の披露儀に納っていたが、平成元年4月28日、薬師堂の修繕工事と共に遷座させ、この日に岡部子に安置された。なげい魂月、人々はこうしてこうこうしい岡部の薬師堂を礼拝していた。

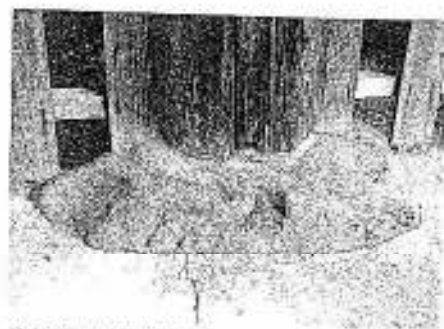


影向寺境内遺跡発見の礎瓦（右・第1層瓦、左・第3層瓦）

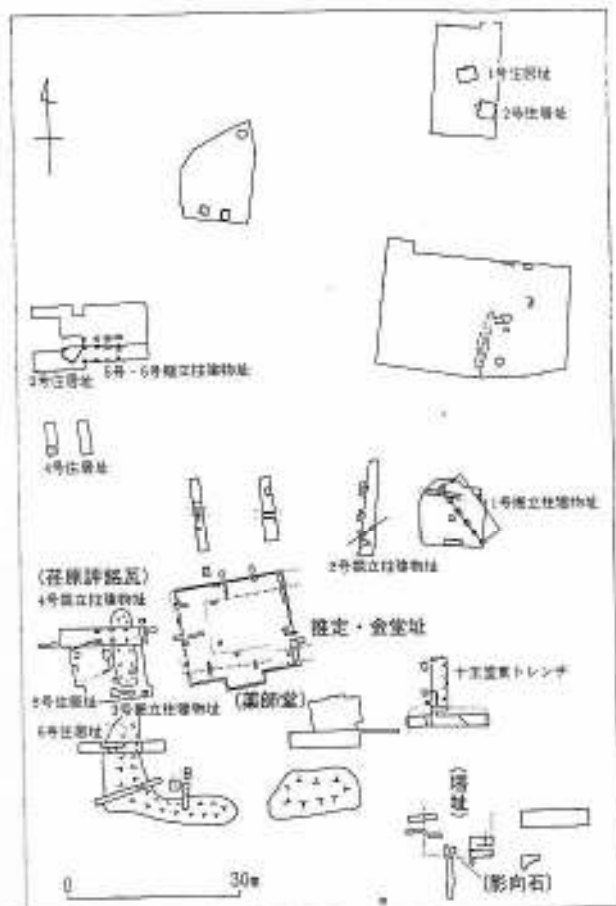
5 左側は八世紀中頃、右側は七世紀終末



6 「都」銘文字瓦 影向寺境内から出土 川崎市市民ミュージアム提供



7 柱座の遺り出しがある礎石 近世の建物の礎石として再利用されていた



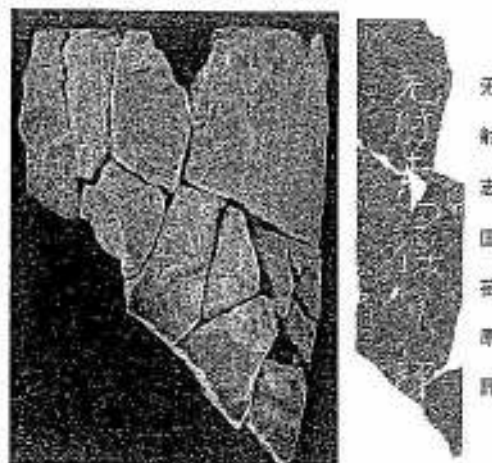
8 影向寺境内及び周辺の古代遺跡全体図 調査報告書から



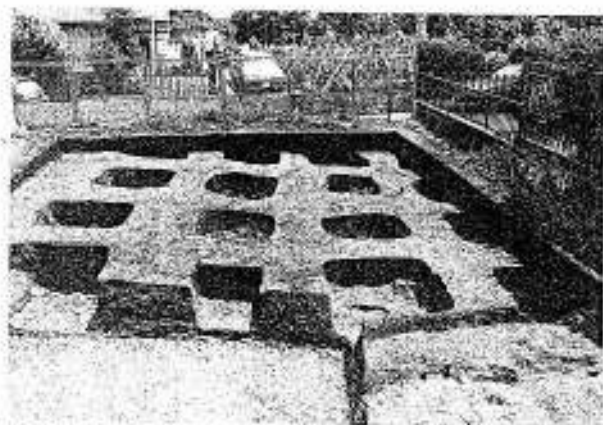
9 影向石 影向寺の由来となった三重塔の心礎石



10 左・奈良県当麻寺の西塔 右・茨城県台波聖徳寺の相輪  
細刻瓦 観音堂山地区発見の相輪細刻瓦 川口武彦「発  
掘された常陸国最古の初期寺院」から



11 影向寺境内出土の「无射志国在源評口」鏡文字瓦  
左・全体写真、右・文字拓影（写真・小池正）

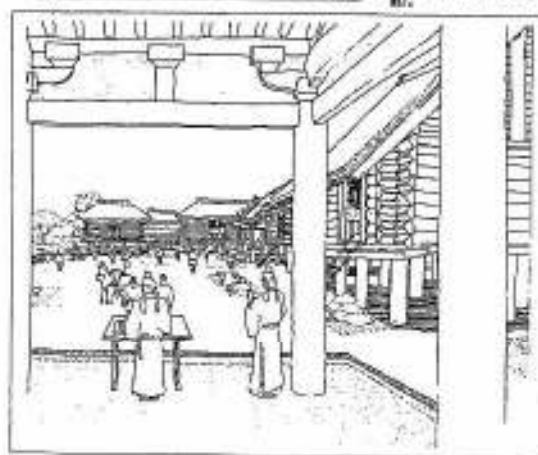


12 正倉建物跡 千年伊勢山台遺跡 川崎市教育委員会提供

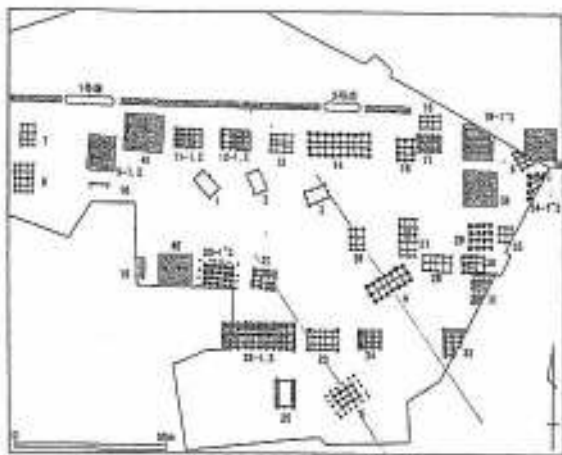


高麗館瓦片（約100枚）の正倉遺跡。  
「正倉遺跡」の正倉遺跡。  
正倉遺跡の正倉遺跡。正倉遺跡の正倉遺跡。

高麗館瓦片（約100枚）の正倉遺跡。  
「正倉遺跡」の正倉遺跡。正倉遺跡の正倉遺跡。

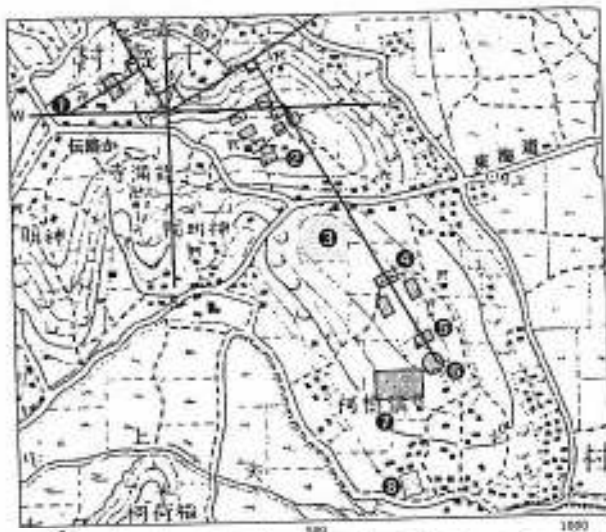


13 正倉建物が、校倉造りとはかざらない



日秀西遺跡遺構配置図

1 建物主軸が南北軸から斜になる正倉の方が古い



3 武蔵国檜樹郡の政治・宗教の舞台 ①影向寺、②千年伊勢山台遺跡（正倉は第1期）、③小高職家推定地、④榊新政府推定地、⑤古代檜樹神社推定地、⑥葛葉院北遺跡、⑦額之台遺跡、⑧額之台遺跡第2地点



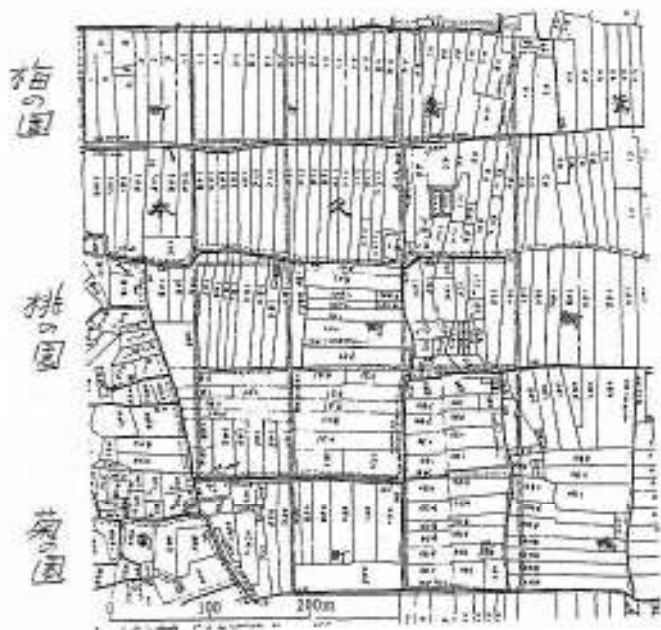
千年伊勢山台遺跡の調査区域（アミ部分）と地形 破線で囲んだ箇所は明治14年以降に崩れた部分（調査報告書に加筆）



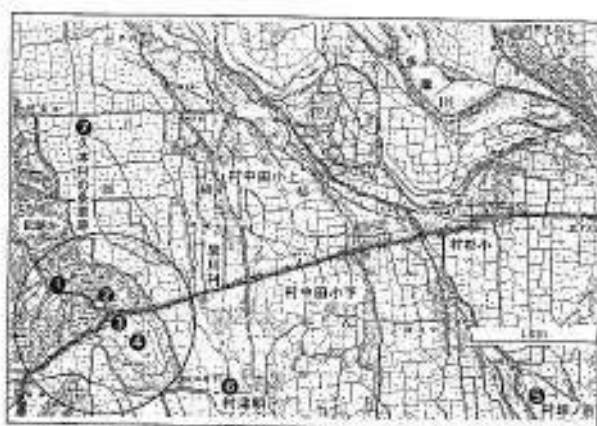
4 檜樹郡の中心部 上・明治14年（1881）と下・大正6年（1917） ①影向寺、②千年伊勢山台遺跡、③子母口富士見台の中心部（政庁跡、小高職家推定地）、④古代檜樹神社推定地（上図のアミ部分）、⑤近世以降の檜樹神社位置。●印は子母口富士見台古墳（下図のアミの箇所は千年伊勢山台のガケ崩れた部分）。上は約2万分の1迅速図、下は約2万分の1地形図に加筆。



2 発掘された正倉院 斜め方位の建物（濃いアミ部分）は1a期、図下方の薄いアミの2棟はやや遅れて建てられたと推測される1b期、白地の真北方位の建物は2期



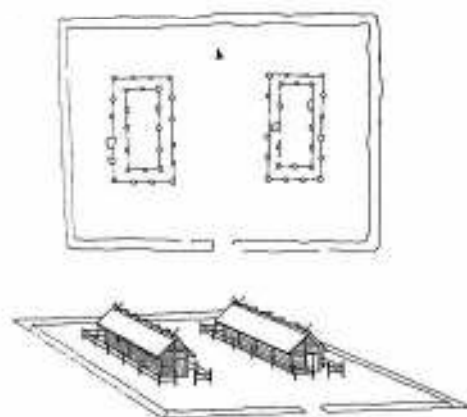
5 高津区久本の条里制の痕跡 1町(約100m)区画が復元できる。  
川崎市教育委員会地名資料室所蔵資料から作成



8 古代橋樹郡の政治・宗教上の舞台と推定東海道筋(アミ部分)  
1・古代橋樹寺(現・影向寺)、2・郡の正倉院、3・小高家墓定地、  
4・郡庁と古代橋樹神社推定地、5・条里「市の坪」所在地、6・津の跡か「明津村」、7・久本村の条里跡

## 7

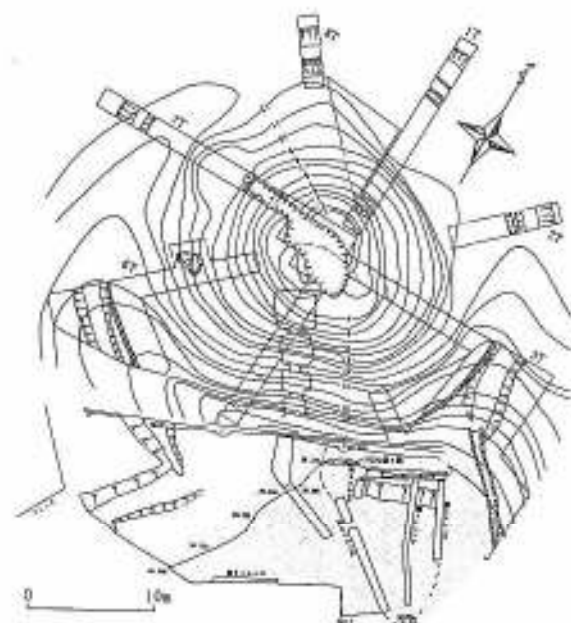
著名な「常陸国風土記」(行方郡)の条にはつぎのような記載がある。  
郡家の南の門に一つの大きな榎有り。其の北の枝、自ら垂りて地に触り、還りて空中に聳ゆ。其の地に、昔、水の沢有りき。今も霖雨に遭へば、庁の庭に溼漬れり。郡の側の田圃に、橋樹生へり。  
同じ「常陸国風土記」(香島郡)の条にはつぎのような記載がある。  
其の社の南に郡家あり。北に沼尾の池あり。(中略)。前の郡の置かれし所なり。多く橋を葺う。其の実味し。



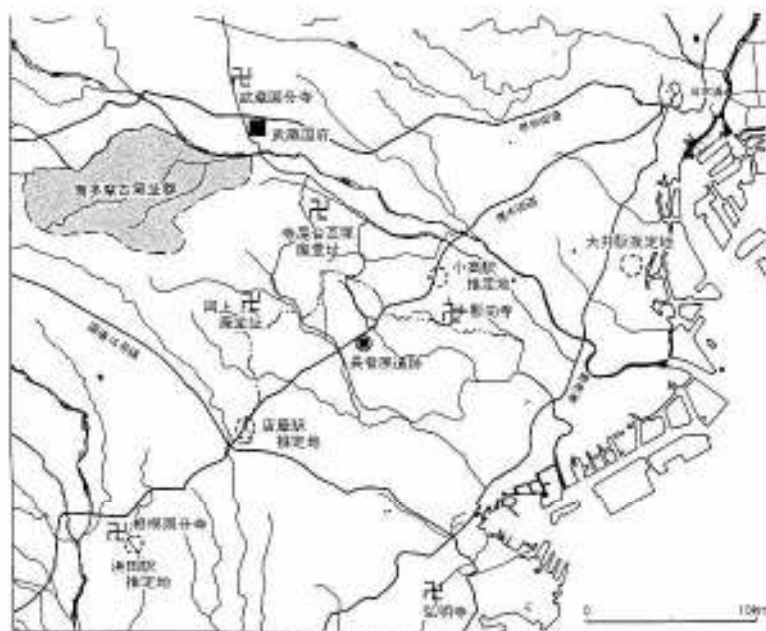
6 千葉県蘇生遺跡跡の神社遺構(上)と建物復元図(下)  
由子葉果文化財センター「歴史考古学ライブラリー」  
歴史時代(1)から



9 高橋古墳横穴式石室 支室より羨門を望む  
金子祐幸氏撮影 川崎市教育委員会提供



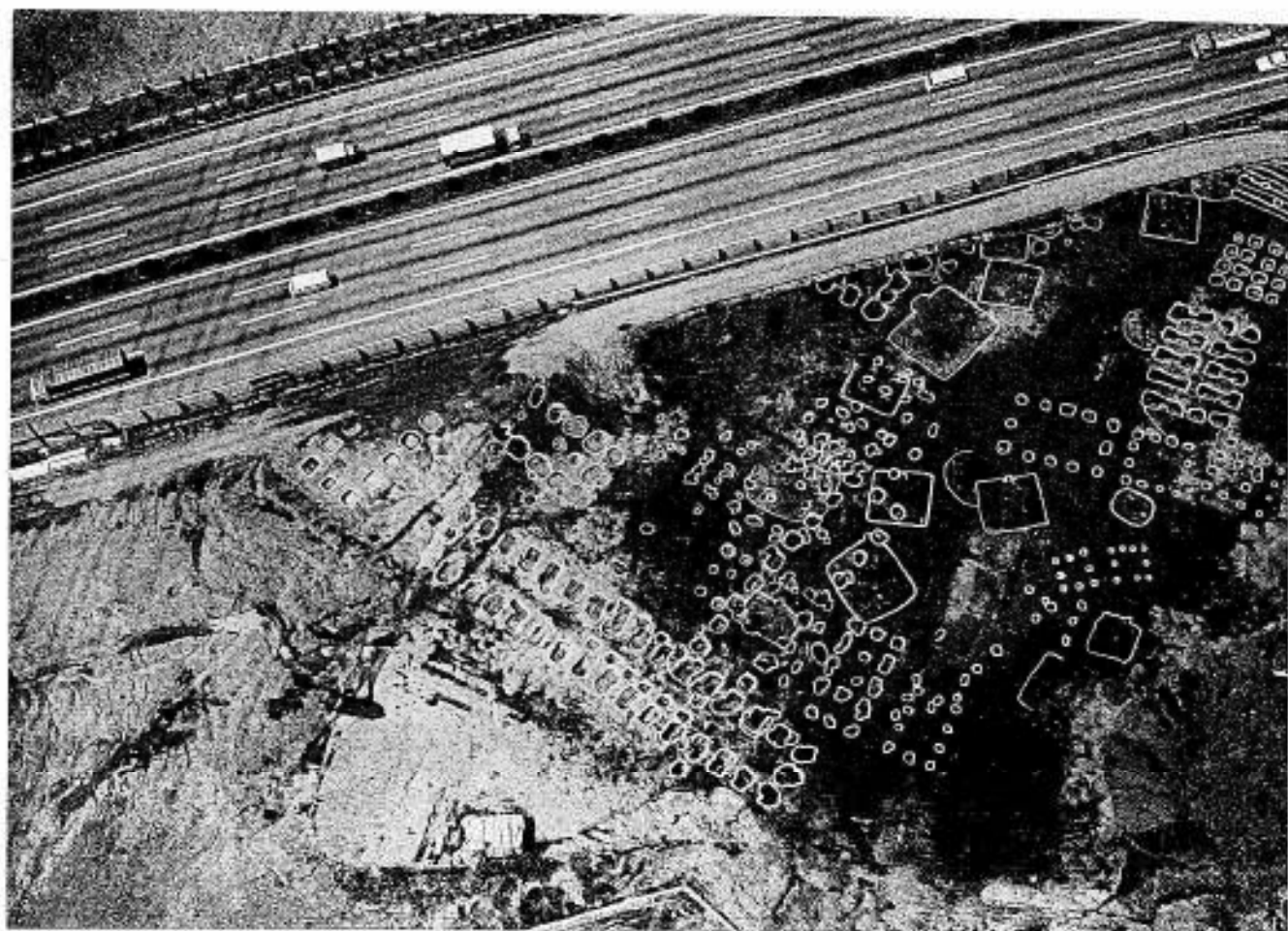
10 高橋古墳の全体図 アミを併せた範囲が版築範囲



1 長者原遺跡、影向寺などの位置関係図



2 長者原遺跡遺構配置図 (山中勉大・佐藤興治「古代の役所」1985年より)

3 長者原遺跡東側台地の遺構群 東より  
(日本歴史研究所提供)